

事務事業名 県管理道路整備事業		所属部 建設部	所属課 都市計画課	
総合計画体系的	政策名 (Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G 国県事業G	課長名 嘉本 俊一	
	施策名 (13)広域幹線道路の整備	担当者名 富山 照夫	電話番号 0854-40-1062 (内線) 2461	
	目的 対 道路(国道・県道、高速道路)利用者 意 雲南市と他都市及び市内を安全で便利に移動できる。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 4 0 0 8 項 目 中事業 中事業名 1 0 1 5 2 6	国道・県道整備事業 国道・県道整備事業負担金	
	基本事業名 (038)県道の整備促進			
目的 対 道路利用者 意 安全で便利に県道を利用する。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
県道の改良事業・交通安全事業の調整等
・県、各総合センター事業管理課と連携し、地元調整(要望、測試、用地交渉、契約、工事、通行規制住民周知等)を行う。
・事業負担金の会計事務

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 県道改良事業の調整(県・地元) 事業負担金の会計事務	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 県道改良事業の調整(県・地元) 事業負担金の会計事務				
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア 地元協議・調整	回	70	70	70	50
	イ 関係機関協議・調整	回	70	70	70	50
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	県道 県民・道路利用者	ア 市内県道路線数	本	27	27	27	27
		イ 県道計延長	m	246,265	246,919	246,791	246,791
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
県道整備により利便性を確保する。(移動時間短縮、移動圏域拡大) 道路交通の安全性を確保する。	ア 事業実施箇所数	箇所	22	20	15	14	
	イ 県道計改良率	%	72.1	72.5	73.3	74.0	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)	
県事業負担金 17,550千円 幹線改良:事業費の10% 生活関連:事業費の15% 都市事業:事業費の7.5%	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円	44,600	31,600	16,500	15,600
		その他	千円				
	一般財源	千円	2,590	1,842	1,050	900	
	事業費計(A)	千円	47,190	33,442	17,550	16,500	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	120	120	150		
	人件費計(B)	千円	467	470	595		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	47,657	33,912	18,145		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
県の道路整備方針として、継続路線を早期完了させ、新規についても早期に完了の見込みのあるものについて優先して事業化されており、事業実施箇所も多くなってきている。	事業負担金については、合併推進債・臨道債を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。	自動車依存率の高い中山間地域においては、県道の整備要望は多く出されており、住民の日常及び社会生活の安定・向上に資するものであり、定住対策の面からも整備は重要である。

事務事業名	県管理道路整備事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 県道整備事業に対する負担金であり、向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 中山間地域に居住する市民の日常及び社会生活の安定・向上が期待できなくなることから、与える影響が大きいと考える。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	(具体的な手段や類似事業名)
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 道路整備は、法律上道路管理者が実施するように規定されている。県が管理する道路の整備であり、県が行う必要がある
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 県が管理する道路の整備は、管理者である県が行うことが最も効率的・効果的である。また、他の実施主体は考えられない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 県が管理する道路の整備は、管理者である県が行うことが最も効率的・効果的である。また、他の実施主体は考えられない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 県が管理する道路の整備における恩恵は、雲南市全域の市民にある。

評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	スムーズな事業進捗となるよう、市・地元の協力体制を万全に整える必要である。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																		
<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																		
自動車依存率の高い島根県においては中山間地域の日常生活や地域間交流の強化・拡大に直結するものであり、引き続き市、地元の協力体制を整え、スムーズな事業進捗を図る。																					
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					